

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2004年6月15日

2004年6月13日現在：

6月13日に終わる1週間のコロラド州東部平原の気温は多少平年を上回ったが、州南部の San Luis Valley では夜間に氷点下を記録した。降水量は前週に続き平年を下回った。平原地区には散発的に雷雨が散発し、集中豪雨や雹が降った地区も有った。Topsoil 水分は多少前週より改善したが、Subsoil 水分は減少した。

1週間の州平均農作業稼働日数は6.5日（前週：6.7日）であった。

冬小麦は出穂が完了し、38%が登熟期に入った。昨年並びに5年平均より早い進捗を示している。作柄は前週より多少劣化した。小麦は生殖生長期にあり今後の気温と降水量が単位収量と品位に大きく影響する。

農務省6月1日付け冬小麦生産量予想、別表の通りであり、単位収量は5月1日付けUSDA予想と同じであった。

土壌水分：6月13日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	23	53	24	0
Subsoil (%)	42	41	17	0

成育状況：6月13日現在

Winter Wheat	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr. Average
Headed (%)	100	99	97	97
Turning color	38	8	30	33

作柄状況：6月13日現在

Winter wheat	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	23	33	29	14	1
Last week (%)	20	24	32	21	3

2004年6月1日付け農務省発表冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1,000 acres		Yield bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2003	2004	2003	2004		2003	2004
				May 1	June 1		
Colorado	2,200	1,800	35.0	30.0	30.0	77,000	54,000
US Total	36,541	35,082	46.7	44.2	43.6	1,707,069	1,530,742

2004年3月付け農務省発表の冬小麦作付面積実績：

2001年産～2004年産作付面積

	Area Planted (1,000 acres)			
	2002	2003	2004	2004/2003

Winter wheat	2,350	2,600	2,300	88 %
--------------	-------	-------	-------	------

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com